

ひろしま WENET

広島市女性団体連絡会議 広報紙 第59号 2025年3月

- ひろしま WENET 2025 男女共同参画セミナー「変わる家族、進む多様性を考える」(報告) . . . 1~2
- 広島市議会傍聴記 . . . 3
- 2025 国際女性デーひろしま、フラワーデモ in ひろしま . . . 3~4

ひろしま WENET 2025男女共同参画セミナー (報告)



変わる家族、進む多様性を考える

<第1部 講演>

テーマ:

「セクシュアル・マイノリティの選択～家族の現状」

講師:河川 和也さん(広島修道大学人文学部教授)

<第2部 対談>

同性のカップルを迎え、お二人の家族の選択について、うかがいます

トークゲスト:三谷日菜子さん(20代)、
イチさん(30代)のカップル

日時:2025年2月22日(土)13時30分~16時

場所:JMS アステールプラザ 4F 大会議室 A・B

広島市女性団体連絡会議と広島市の共催で、ひろしま WENET 2025 男女共同参画セミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、「夫婦と子ども」の世帯よりも「単独世帯」が多いことや、夫婦別姓を選択できず事実婚を選択する夫婦、同性婚を認められないカップルが存在するなど、家族のかたちが変わろうとする中、性的マイノリティの人の家族の現状を知り、進む多様性について考えることを目的に開催しました。

寒さ厳しい中、57人の参加がありました。

アンケートは参加者の56%の回答があり、そのうち女性が71%、男性が25%、その他はなく未記入が1人でした。年代は60代以上が66%、50代以下が34%と幅広い年代の参加がありました。第1部の講演

は90%、第2部のトークでも84%を超える人が大変満足、満足との評価でした。

第1部では、河川和也さん(広島修道大学人文学部社会科学教授)が性的マイノリティを取り巻く家族や社会状況について講演しました。

はじめに性的マイノリティと家族との関係について調査データにより説明され、2019年の調査では、身近な人が同性愛者だった場合の反応について、「近所の人」「同僚」「きょうだい」「子ども」を比較すると、「近所の人」「きょうだい」では否定的にとらえる回答は3割以下でしたが、「きょうだい」では5割を超えて、「子ども」に至っては6割を超えているという結果でした。したがって、身近な人ほど、あるいは

家族内では同性愛者であることを受け入れるのが難しいことがわかります。

また、各自治体のパートナーシップ制度やファミリーシップ制度の導入状況が示され、日本の人口カバー率は85.1%を占めるまでになりました。広島県では11市町、広島県は23市町ありますから、まだまだ宣言していない自治体が多くある現状です。またその運用についても課題が多くあることもわかりました。

さらに同性のカップルを取り巻く社会的状況について説明され、相続、医療、福利厚生、住まいなど多くの不利益があり、親権に関しても不安を抱えていることがわかりました。不動産のオーナーに対する調査で、50代、60代では5割を超えるオーナーが男性カップルの場合に「入居してほしくない」「入居をためらう」としています。女性のカップルに対しては、男性より少し下がりますが、60代で5割を超えている現状で、実際契約申し込みの際に、「原則、LGBTお断り」とする同意書もあり、性的マイノリティの人たちの人権が守られていない現状をあらためて実感しました。

婚姻の平等を求める同性婚訴訟も全国5都市で起こされ、昨年3つの高裁で違憲判決が出ました(その後3/7に名古屋高裁でも違憲判決がでました)。また、婚姻の平等を求めることは「選択的夫婦別姓制度」とも関連していることがわかりました。

性的マイノリティの家族に対して反対する論調があります。①少子化に拍車をかける、②家族制度の崩壊、③種の保存・次の世代に命をつなぐなどの議論があります。実際には、この理由づけは性の多様性の拡がりには関係なく、日本では少子化傾向は性の多様性が認識されるはるか以前から始まっており、家族関係もすでに変容していました。次世代に命をつなぐことは性的マイノリティでも可能となっています。



第2部では、同性カップルのお二人が登壇し、河川先生とともにお話を進めました。

最近パートナーとして一緒に暮らし始めたお二人。イチさんのお母さまは、「LGBTQの子どもはかわいそうだから認められない」という考えで、一方、日菜子さんのお両親はイチさんを認め、食事と一緒にしている関係、でも祖母には伝えていないとのことでした。

また、住まいを探す際には、結婚する同性カップルとしてではなく、ルームシェアをするという理由で物件を探し、紹介される部屋自体が結婚するカップルに比べて限られたというお話でした。隣近所への紹介も姉妹ということにしているそうです。また、11月に手術予定があり、手術の同意書もパートナーシップ制度での同性のパートナーでは認められず、親に同意してもらわざるをえないと言われていました。他に、会社の福利厚生も利用できない現状などについてお話されました。

二人で安心できる関係になりたい、また、子どもについては、イチさんは欲しいが日菜子さんは今のところ子どもを持つことは考えていないが、将来、二人の思いが一致すれば子どもを持ちたいと考えているとのことでした。子どもを持つことについては子どもが将来いじめられるのではないかなど不安があり、まだ積極的に子どもを持つことを選択できないと言われていました。

お二人のお話をうかがって感じたのは、同居して2か月のお二人は初々しく、異性婚の新婚カップルと変わらないということでした。お二人には幸せになってほしいと強く思いました。

最後に多くの質問が寄せられ、河川先生、同性カップルのお二人が、丁寧に回答しました。



実際、まわりに性的マイノリティと思われる方がいて、どう対応したらよいかという質問もいくつか寄せられました。これまで見えない存在だった性的マイノリティの方たちに対して、少し関心が広がったということかもしれません。自然に受け入れられる社会にしていきたいものです。(啓発部会長：中嶋典子)

イチさんと日菜子さんからのメッセージ

今回私たちふたりで登壇させていただいたことが、LGBTQ当事者が身近にいることを感じていただくきっかけになったのであれば幸いです。まだまだ日常生活では生きづらいと感じることもありますが、当日も皆さまが温かいコメント等をくださり、これからのふたりでの生活に一層希望が持てました。ありがとうございました。

広島市議会傍聴記



2月25日(火) 令和7年第1回広島市議会定例会
消防上下水道委員会を傍聴しました(発言議員:4人)。
①消防上下水道関連の補正予算における事業の遅延
による減額について、②観音地区の道路陥没事故にお
ける近隣の建物の危険度調査結果・被害者の状況・被
害者への対応・保障及び支援について、③安芸太田町
からの水質検査業務の受託について、議員からの質問、
確認が行われました。また、付託案件外で天皇原川の
道路(県道71号)横断コルゲート管補修の進捗状況
について質問されました(WENET 傍聴:3人)。

3月10日(月)には、予算特別委員会(建設関係)
を傍聴しました。発言議員は10人で終日審議があり
ました。主な議題は、老朽化した橋脚の補修・アスト
ラムラインの延伸・災害時における帰宅困難者の対
応・街路樹の再整備・景観・公共交通の機能と利用(乗
り合いバス共同運営システム・乗り合いタクシー・似
島航路の再編・広域公園の再整備・インクルーシブな
公園の整備・JR 広島駅~海田市駅の高架・京橋の復
元・市営住宅の維持管理及び団地内の高齢化・空き家
対策とブロック塀の撤去など、私たちの生活に密着し
た道路、交通、公園、住宅など多岐にわたる議論がさ
れました。

こうした問題は、市民生活や命につながるもので、
私たち市民も、議員だけにお任せするのではなく、よ
り住みやすい生活環境にするため意見を出すことが
重要と改めて考えさせられました。(会長:貴田月美)

2025 国際女性デーひろしま

被爆80年 今こそ平和! ジェンダー平等

講演 私の「虎に翼」

講師 寺西 環江さん



その他 活動報告

2025年3月9日(日)13時30分~16時

場所:合人社ウエンディひと・まちプラザ北棟6F



3月8日は国際女性デーです。世界中の女性たちがジェンダー平等を実現しようと声を上げました。広島でもフラワーデモに多くの人に参加しました。そして、3月9日「被爆80年 今こそ平和! ジェンダー平等」講演が合人社ウエンディひと・まちプラザにて参加者124人、男性の参加も年々増えている中で開催されました。

オープニングの平和のコーラス♪いま君とともに♪会場が一つになったところで寺西弁護士がジェンダーの視点から自己紹介。2024年に放送されたNHK連続テレビ小説『虎に翼』で主人公・寅子の口癖だった「はて?」の連発から連想するご自身の「はて?」の幼少期から大学時代のお話に、会場は頷きつつ笑いあり。そしてこの「はて?」は弁護士になってからも連続したといいます。

母子家庭の貧困。弁護士会の「はて?」。離婚事件から見えるジェンダー。性被害から見えるジェンダー。ジェンダーギャップ指数118位の日本の現状。ジェンダー平等社会を実現するためにはジェンダー意識のある議員を選ぶことが大切と締めくくられました。

寺西さんが弁護士として多方面にわたって活動する中での気づきや体験を具体的に語られることで、聞いている私たち自身の多くのジェンダー意識に気づかされました。（副会長：山本紀子）



<活動報告>

◎日本被団協、ノーベル平和賞受賞

発表者：被団協（佐久間理事長）事務局次長 古田光恵さん

◎だれでも通園制度の現状

発表者：広島市職員労働組合女性部長 橋本敏子さん

◎問題だらけの「健康保険証廃止」

発表者：広島県保険医協会事務局 岩下翔平さん

国際女性デー

フラワーデモ in ひろしま

3月8日（土）「国際女性デー」当日、ジェンダー平等を求めて全国各地でさまざまなイベントが行われ、新聞各紙も紙面をミモザの花をあしらったジェンダーに関する記事で賑わしました。

広島でも「ヒロシマ女たちの会」の呼びかけで、本通り交差点で「性暴力をなくそう」とフラワーデモが行われた、31人が参加。スタンディングと5人によるスピーチが行われ、性暴力、女性であることの不利益をなくして、差別のない、社会にしようと訴えました。（会長：貴田月美）



広島市女性団体連絡会議(ひろしま WENET)からのお知らせ

◆ 広島市女性団体連絡会議 2025 年度総会

日時：2025年6月7日(土)14時00分～16時

場所：ゆいぽーと 研修室 1

◆ ヒロシマ平和の灯のつどい

日時：2025年7月31日(木)17時30分～

場所：広島平和記念資料館地下 メモリアルホール
平和記念公園等

たくさんの方のご参加をお待ちしています

性被害
ワンストップセンター
ひろしま

電話での相談は、24時間365日受付しています。

無料ダイヤル#8891

WENET ニュース第59号 2025年3月発行

発行者 広島市女性団体連絡会議

(広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)

責任者 貴田月美